

7. 臓器移植件数(心臓・肝臓・小腸・肺・脾臓)

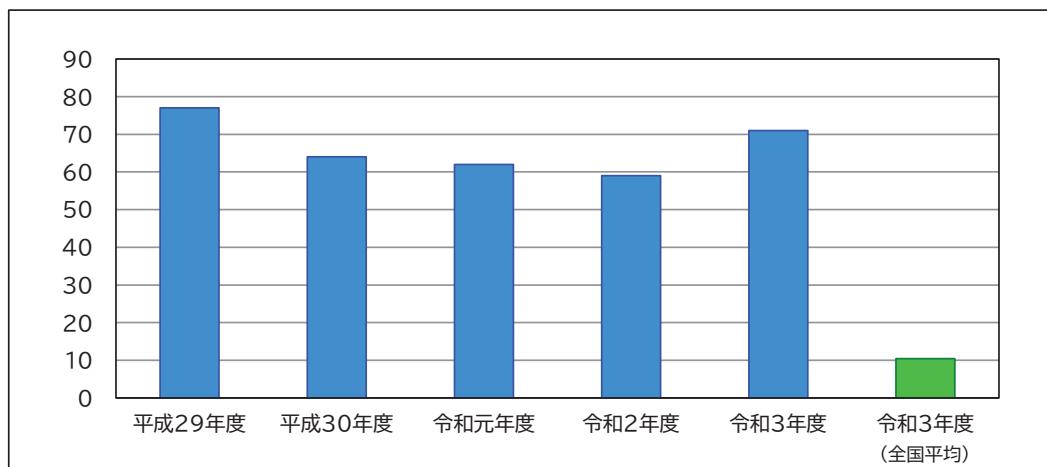
項目の解説

臓器移植を行える施設は限られています。そのため臓器移植は、高度な医療技術、経験のある職員、十分な設備を持つ国立大学病院の社会的責任の一つといえます。腎移植はすでに定着した技術ですが、心臓・肝臓・小腸・肺・脾臓の移植はまだまだ難しい問題が多々あります。心臓・肝臓・小腸・肺・脾臓の臓器別の件数は少ないので、ここではこれら五臓器の合計数を示します。

当院での臓器移植件数のうち約7割は、生体肝移植が占めており、福岡県以外の九州、沖縄県及び山口県等の医療機関からも紹介をいただいている。

当院の実績

九州大学病院						全国平均
平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	(単位：件)
77	64	62	59	71	10	



*「全国平均」は、国立大学病院の平均値(四捨五入)を示します。

定義

心臓・肝臓・小腸・肺・脾臓の移植件数です。なお、同時複数臓器移植は1件として計上しています。